

「明石のすてき」で、まちづくり

風がとおり、海のみえるまち

空間構想デザイナー/ 絵師 中崎宣弘氏(明石市出身)
8月18日開催の「住民投票署名スタート集会」にて提案



昼は海風 夜は山風
かぜのとおりみち



そぞろ歩く人たちがいる
人の流れが生まれる



風が、ほおをなでるように……
髪をたなびかせるように……



生活をみなおそう
電気にたよらず、
窓をあけ風を入れよう
自然をとりいれよう



カフェ、お祭り空間

知の空間



パパ、星だよ!!

昔の人びとは星をみて航路を知った
自分で方向を見つけることは、自立していくことでもある
(天文科学館)



宇宙へのあこがれ、想い…… 水槽のなかを
音もなく魚が泳ぐ…… そんな<知の空間>を
とりもどそう
(明石に水族館
があった
1972年閉館)



巡回バス



稲づまや 浪もてゆへる 秋津しま 蕪村
稲妻に日本列島が浮き出されたような“俯瞰(ふかん)”
変化が求められるときこそ俯瞰が必要なとき

黄色の点線は、明石を通る子午線 135度

市民みんなで決める住民投票を実現する会 (略称: 駅前再開発・住民投票の会)

明石駅前事務所 ▶ 明石市本町1-6-3 (明石銀座通) Tel/Fax 078-911-5015 e-mail jumintohyo2012@gmail.com
〈会費、カンパ振込先〉郵便振替 00940-8-255443 口座名: 明石駅前再開発・住民投票の会

駅前だけでなく、もっと総合的に、明日のまちづくり



子どもたちが育つまち

やがては成長して、おとなになり、まちをついでいく
広い空間、のびやかな景色をみておく必要があるだろう



アーティスト が来るまち

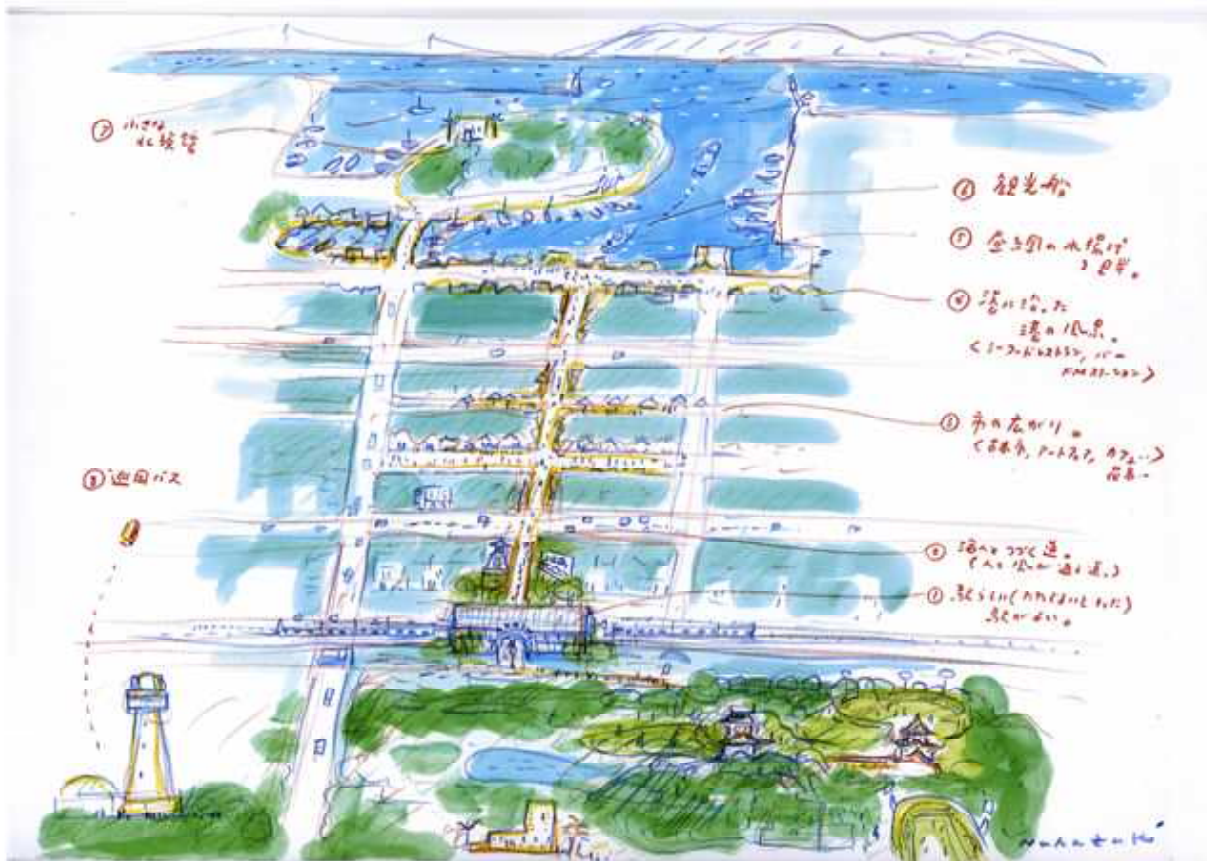
何よりも、体感が大事
生きた魚、たこを食べ
水族館で知識を得る



アーティストは まちの発見が得意
おもしろさを見つける天才

魚の棚の東西筋以外にも
道を活用することを考えよう

まとめてみると、こんな感じ



「住民投票」請求署名期間▶ 8月25日(土)~9月24日(月)